

お母さんになったら

29年度5月号

おもちゃ遊び

「赤ちゃんにはおもちゃ」とつい考えてしまう人もいますが、大切なのはお母さん、お父さんが一緒に触れ合うことです。発達に応じたおもちゃの遊び方を探したり、興味のあるおもちゃを選んだりしながら、赤ちゃんと楽しく触れ合ってください。

1. 「触ったら音がした」「引っ張ったら何か出てきた」など、赤ちゃんは次の展開を想像し、驚きながらおもちゃで遊びます。これは、赤ちゃんの好奇心をくすぐり、喜びを引き出すもの。また、手や指を使うという大切な動きも、おもちゃを使って楽しみながら学びます。赤ちゃんと触れ合いながら遊び方を見守ってあげてください。



2. 発達に応じたおもちゃと遊び方

ガラガラは、音を聞くだけの段階から、自分で握り、さらに振って音を鳴らすようになります。お母さんやお父さんは興味に応じたおもちゃと遊び方を赤ちゃんと一緒に探ってください。

3. 遊び方の工夫をしてみてください

発達や興味に合ったおもちゃがいいと言っても、あれこれ買うのは考え物。時には、おもちゃを整理したほうが自分で遊び方を工夫するようになります。一つのおもちゃでもいろいろな遊び方ができますし、お母さんの工夫次第で慣れ親しんだ日用品も楽しいおもちゃになりますよ。

ねんねのころ・・・(くるくる回るメリー・モビール) 仰向けに寝ている赤ちゃんの目線上に吊ると、じっと眺め、嬉しいと手や足をバタバタさせることもあります。

首すわりのころ・・・ガラガラやぬいぐるみをにぎにぎしたり、振ってみたりします。できればタオルなどのやわらかい素材のものがお勧めです。

おすわり、はいはいのころ・・・触ると音が鳴るものが好き。いろんなところを触ったり回したりすると音がでるしかけがとっても楽しいですよ。押す→音がでるということがわかるようになると嬉しくて何回も繰り返して遊ぼうとします。



立ち、あんよ・・・あんよができるようになったら、ひものついたおもちゃもお勧めです。おもちゃを引っ張りながら一緒にあんよすることもできます。引っ張ると自分のほうについてくるおもちゃの動きに赤ちゃんは大喜びです。